

“フシギ”がいっぱい 中野で発掘されたものたち

1 狩りと漁



せきぞく
石鏃

いし
石の矢じり

ヒモのあとが
ついているよ



どき へんすい
土器片鏟

あみ
網のおもり

狩りに使う矢の先につける石の矢じりは、いろんな遺跡から出てくるよ。魚をとる
網のおもりは、縄文土器のかげらを使っているから、いろんな 모양があるね。

3

中野の遺跡からはこんなにたくさんのが発掘されたよ。

じっくり観察して、“フシギ”をみつけたら、
説明を読んで、なぜを解決しよう。

1

このマークのところにあるよ！

2 色を塗ってある

土器の上の部分は細かい縄のよう、
下の部分は土器の表面をていねいに
磨いて赤い色をつけているよ。大む
かしの人は赤い色には力があると
考えていたみたい。



やよい どき つぼ
弥生土器・壺

3 底にもようがある



じょうもん どき
縄文土器

土器の底の裏を見ると、何か
もようがついていることが
あるんだ。これは、土器を
作る時に下に敷いてあった
編み物のあとだよ。縄文時代
にも竹ひごなどでカゴを編ん
でいたことがわかるね。

4

4



だせいせきふ
打製石斧

つち ほ どうぐ
土を掘る道具

金属のない時代には石の道具が
大活躍！切るのも、掘るのも、
刺すのも、削るのも、割るのも、
すりつぶすのも石器だった！

石の道具たち

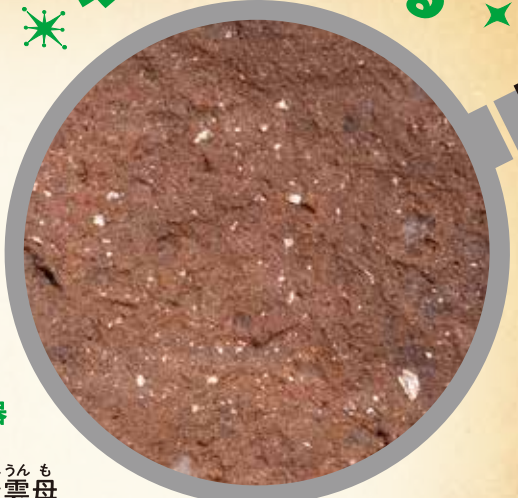


いしざら
石皿

すりつぶすのに使う

5

キラキラしてる



じょうもん どき
縄文土器

キラキラの正体は、金雲母
という鉱物で、粘土に混ぜて
土器を作ったんだ。土器の形やもよう、粘土に混ぜたもの
などで、時代や作られた場所がわかったりするんだよ。

アクセサリ

6



どせいまたがたま
土製勾玉

どせいまたがたま
土製垂飾り

ねんど や つく まがたま
粘土を焼いて作った勾玉

あな ひととお かざ
穴にひもを通してさげる飾り

中野で見つかったアクセサリーの代表は、赤くぬった木の
耳飾り、なんと、直径2cmもあるピアス！ほかに宝石の
ヒスイのアクセサリやガラスのビーズが見つかるよ。

5

7

遊び道具いろいろ

どろ
泥めんこ



かい かたち
貝の形のコマ

泥めんこは、粘土を焼いて作った江戸
時代のおもちゃで、文字や絵がかいて
ある。おはじきやビー玉、小さい人形
なども遺跡から出てきたよ。

6